

みんなの「声」

Vol. 11

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。
表紙（1ページ）に登場いただいた家族にお話を聞きました。

柳沢地区在住の甲斐谷さん家族
陽平さん 陽泰（はるか）ちゃん（3歳・長女）
ますみさん 千陽（ちはる）ちゃん（1歳・次女）

山田の特色を生かした観光事業を！

町の好きなところは人が優しく自然が豊かで海の幸、山の幸がおいしいところ。

町に期待することは災害に強い町づくりをしてほしい。新たな道の駅ができるので、山田の特色を生かした観光事業をしてほしい。

子どもたちへの将来の希望は明るく元気に育ってほしい。

傍聴席からひとこと

富士 永輝さん

第1回定例会を傍聴させていただきました。

町行政に疎い私にとって議会を傍聴することは、とても新鮮な驚きに満ちた体験でした。議会の様子は広報や人づてに聞いていましたが、実際に聞くと活字化されたのを読むのでは熱気の度合いが全然違います。2日で8人の議員が質問しました。台風19号被害からの復旧、サケの不漁対策、交通網の整備などについての質問が多かったようです。また、全く私の知らない問題も取り上げられています。東日本大震災で沈下した地盤が隆起していること。高

齢者の総人口が38・2%で5人に2人が高齢者であること。台風19号の被害が200カ所もあること。小学校の新校舎を建設予定であることなどです。途中、質疑が白熱する場面もあり、緊張感をもって傍聴しました。

議会は私たちの身近な要望が議員を通して実現される場でもあります。そしてこの熱意があれば山田町はよりよい方向に進むものと思います。それにしても議会はいろいろな情報に接することができる場でもあります。多くの方々も傍聴されることを望みます。

次の定例会は、6月9日から6月12日に開催する予定です。傍聴の手続きは、傍聴人受付票に住所、氏名を記入するだけの簡単なものです。お気軽にお越しください。

No. 53

あとかき

▼昨年9月の改選により初めて議会広報編集特別委員となりました。身の引き締まる思いであります。▼さて東日本大震災から9年が過ぎました。9年間、私はボランティア活動として行方不明者の捜索や瓦礫撤去、町内の清掃活動を行ってきました。町を見渡すと、各地区で復旧復興が日々進み、町並みも整備され、きれいな町になってきたと感じております。本町のシンボルでもあるオランダ島の整備も進み、体験観光の拠点として利用できるようになっています。また子どもたちが海童丸に乗船し山田湾で養殖などの勉強や体験ができるようになります。町は今後も発展してまいります。一方で課題もあります。課題の解決に向け議員の皆さんと頑張ってまいります。（阿部吉衛）

発行責任者

議長 梶 暉雄

議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明
副委員長 阿 部 吉 衛
委員 豊 間 根 吉 衛
" " " 阿 部 幸 一